

## 「メタバースを利活用した社会教育の方向性」

みなさん、おはようございます。儀間敏彦（ぎま としひこ）です。

漢字で「儀間敏彦」と検索すれば、いろいろ過去の仕事内容が出てきます。ひらがなで、「ぎま としひこ」（ぎまスペースとしひこ）と入力すると、私のホームページが出てきます。ホームページのアドレスは、ハリウッドの俳優、リチャードギアーにちなんで、リチャードギマー (<https://richardgima.com/>) としました。

ぎまは、くまもん、で有名な、熊本に 30 年近く、住んでいたのもので、自分のことは、「ぎまもん」と呼んでいます。これらは、すべて過去の事です。私は長野県飯田市のみなさんと共有したいのは、「これから」の事です。



図 1 内村鑑三『代表的日本人』

ぎまもんの勤務先は、東海大学です。東海大学の創設者松前重義先生は、内村鑑三先生の弟子となり、東海大学を創設しました。さかのぼれば、内村鑑三先生は、日本

とキリスト教圏をむすぶ意味で、日蓮聖人や西郷隆盛などの偉人を集めて『代表的日本人』（1908 年）をまとめています（図 1 参照）。その後の、『後世への最大遺物』などを読み解くと、われわれは、次の世代に、私たちでしかできない教育システムを残すことが最大の遺物であると思っています。

そこで、今回は、2024 年から、2044 年のシンギュラリティの時代に向かって、甲辰の年に、学輪 I I D A において、かなり大風呂敷をひろげて、講演、儀間ゼミを開講させていただきたいと思っています。ここでは、「これまで」のことよりも、「これから」のことを共有していきたいと思っています。

見た目のとおり、わたしは、メタボです。来年から、僧侶の免許、資格、勉強もはじめます。ですから、私を思い出しながら、「メタボ坊主、メタバース」の名前だけでも、憶えてほしいとおもいます。今回の儀間ゼミの開講テーマは「メタバースを利活用した社会教育の方向」です。

<ぎまもんと飯田市の関係性>

最初に、ぎまもんと飯田市に関係性ですが、そのご縁は、曾根原宗夫さんです。久留米大学で曾根原さんが講演した内容を聞いたことが契機で、今日のテーブルにま

で、いたっています。曽根原さんからは、楽しむことを教えてもらいました。

楽しかったら続ける、楽しくなくなったら、やめる、それだけです。楽しいから、自分で進んで見つけ仕事をしています。

熊本に出向くと、いろいろほどこしを受けます。それを「慈悲の心」と受け取りました。「慈悲」とは、相手の苦しさを取り除き、に楽しさを与える、という仏教の言葉です。キリスト教では、内村鑑三先生が、キリスト教 (Jesus) と日本 (Japan) という視点で、いろいろ論文をまとめています。

アジアで初めてノーベル経済賞を受賞したアマルティアセン博士は、「ケイパビリティアプローチ」という言葉と考え方をつかっています。それは、仏教で言う、「慈悲の心」、キリスト教でいう「慈愛の心」にちかい考え方とおもっています。

そうした心境に到達するためには、社会を家族のように考える思考、それが社会有機体観です。それとは、別に、社会全体を機械のように、それぞれを部品のように考える方法が原子論的社会観です。日本の高度経済成長は、原子論的社会観を追い続け、公害などの社会問題を起こしてきました。これからは、環境問題などにも触れるためには、前者、社会有機体観という思考が必要とおもっています。

私は、中学から大学まで、スポーツの世界で、激しい練習と、自宅にかえれば、メ

ソルトレーニングばかりしていました。ですから、実際、優勝した瞬間などは、未来が（目標が達成した瞬間に）、突然、急に「懐かしいもの」になっていました。

私にとって、未来は、新しくて、過去は、なつかしいもの、ではありません。まったく逆です。

「未来は、なつかしくて、過去は、新しいもの」です。

飯田市の市民の皆さん方とは、一緒に、新しい、楽しい未来を共有して、ワクワクするような、夢を見て、それを実現していきたいと思います。

私は、こうした夢を見続ける人を、「夢見人（ユーマージン）」と言っています。

<ぎまもんの社会教育（学校法人構想）>私が夢を見ている「これから」には、次の世代に遺せる新しい教育システムを構築する、ということです。

教育システムや「社会教育（学校法人構想）」の原点とは、まずは、チャイルドアンバサダー構想です。いまの私たちの世代が、次の世代に何をのこすべきか。それは、お金や財産や、ビジネスモデルなども含めて、新しい次の世代を担う教育システムではないか、と思っています。

ただ、今の若者は、私たちが思っている以上に、自己肯定感が低く、未来に対して

夢や展望がありません（図 2 参照）。それを私は、危惧しています。

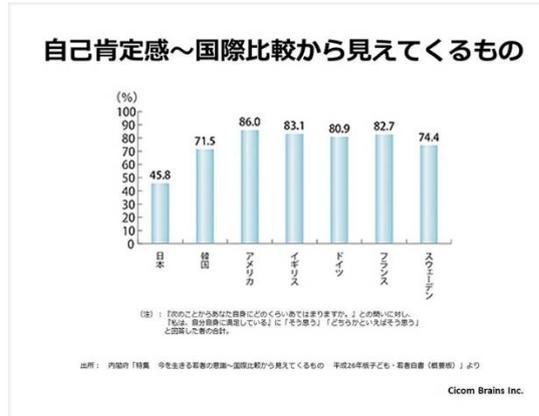


図 2 自己肯定感の低い日本

私は、これからの教育（の原点）は、昔の寺小屋構想にならって、神社仏閣の発展とともに考えるべきではないかとおもっています。

過去に、教育勅語で言われていたように、親兄弟を大切にするという倫理教育も不可欠です。神社仏閣と倫理（倫理法人会）は、教育に不可欠な、基本的な 3 本柱とっています。

また、それに加えて、大学や学校で教えている、「哲学などの思想、思考」も入れ込みますと、4 本柱となり、テーブルやいすが 4 本の脚をもって、安定しているように、人間の精神・魂も、いま以上に、安定していくと思っています。

私が考える教育システムで言えば、その何が新しいかと言えば、タテ展開では、世代間交流、ヨコ展開では、地域間交流を展開する、という事です。行政でいえば、観

光協会・コンベンションビューローなど、観光と学習をリンクさせる考え方です。

そして、タテ展開とヨコ展開で、プラス発想で取り組んでいきます。それには、自分や相手を批判しない、ジャッジしない、という潜在意識の話も重要になってきます。国内でのヨコ展開がはじまれば、海外とのヨコ展開もはじまります。

そうして、次の世代を担う、子どもたちが親善大使となるような教育システムを構築していきたいと思っています。

<イメージの展開>イメージとしては、熊本県と長野県の媒介項は、県花と思っています。県花は同じ「りんどう」です。これは、曾根原さんから教えてもらったことです。図3のりんどうは、長野県飯田市の仲間達がつくってくれたものです。私は、嬉しさのあまり、私のラインのアイコンにしました。



図3 ラインのアイコンはりんどう

「りんどう」の花言葉は、「勝利」「正義感」です。漢方として利用されるりんどうが病に打ち勝つことが花言葉に由来しています。その他に「悲しむあなたを愛する」「寂しい愛情」といった花言葉もあります。1 本 1 本独立して咲くりんどうの性質が少し寂し気に見えることが由来しているようです。

引きこもりや巣ごもりをしているメンバーに、寄り添うように、「メタバースを利活用した教育」を展開していきます。

そして、いずれ、熊本県、長野県飯田市の市民相互の交流が始まるように、ネット上での交流をはじめます。

また、私の出身地沖縄との交流もあります。

熊本県と沖縄県の媒介項は、歴史文化でつながります。第 1 尚氏の出身は熊本。また、熊本は、戦後の沖縄の学童疎開の受け入れ先です。



図 4 長野県霜月まつり

長野県の霜月まつりは、チャイルドアンバサダーの教育を展開する上での原点になります。それは、陰陽五行説でしめされる気質学で説明できます。

霜月まつりでは、神様は、「お湯がすきた」とはやし言葉を言いながら神事が行われます（図 4 参照）。私も、一度、長野県飯田市の仲間達と見学にいったのですが、気質学的に言えば、「みんな仲良く」ということです。神様がお風呂に入る姿は、宮崎駿さんがアニメ「千と千尋の神隠し」という映画となり世界でヒットしました。

私は、長野県遠山郷の霜月まつりは、世界に向けて発信してもいい観光資源とおもっています。こうした観光資源を地元の子どもたちが総合学習の時間などで、地域外に発信してほしいとおもっています。

子ども達の総合学習は、世界平和につながります。子どもの「子」という文字には、終了の「了」とはじまりの「一」が含まれています。子どもの教育を語ることは、無限です。

<メタバースを利活用した社会教育の方向>

メタボの儀間は、いずれ、お坊さんの資格・免許を取得を考えています。「メタ坊主」というギャグで、「メタバース」という言葉を覚えてほしいと思います。

メタバースを利活用すれば、移住・定住などの法改正（デジタル庁、総務省）をと  
もなえば、ネット上で、移住を提唱することが可能となります（総務省まちひとしごと  
づくり構想」にも直結すると思っています（新しい担い手づくり、新しい経済圏づ  
くり）。身体に不自由な方々のツーリズムも、可能になります（図5参照）。

そして、そこで、たとえば、住民税も取る（国税庁）ことが法改正で実現するとし  
ましょう。いまの「ふるさと納税」の新しいバージョンですが、そうすると、いまの  
京都、沖縄などの、オーバーツーリズムの問題も解決すると思います（観光庁）。



図5 メタバース空間上のアバター

私は、いま、内閣府沖縄総合事務局からの推薦を受けて、地元、首里のまちづくり  
研究会にも入会しました。この組織は、いずれ、一般社団法人に格上げしていく予定  
です。私は、沖縄県でも、メタバースを利活用したまちづくり、という事で、同じこ  
とを発言していきます。

<幼児期のモンテソーリ教育> 「モンテソーリ教育」は、藤井総太などの偉人を生んだことで世間に知られている幼児教育です。「モンテソーリ教育」の発想で、幼児期からの教育で、マルチエイジ（世代間交流）のクラス編成、時間割がない、大きい人間と小さい人間、時間割がない、などの新しい発想は、今の生涯学習センターなどでも、取り入れたらいいと思っています。

いまの教育システムに、新しいファクターを取り入れることは、不可欠です。

儀間の「社会教育（学校法人構想）」は、老人から若者まで、タテの世代間交流と、熊本・長野・沖縄など、ヨコの地域間交流。を合わせたもの、です。

ですから、農林水産業者の育成、次世代の企業家精神をもった若者の育成など、YouTube を利活用したユーチューバーの育成、ドローンなどを利活用した子どもたちの育成事業など、新しい職業観のスタートアップ事業もふくまれます。

<大谷翔平の目標達成シート>

藤井総太と並んで、マスコミが取り上げるのが、大谷翔平さんです。大谷さんは、仏教のマンドラを応用した、大谷翔平の目標達成シートで教育界では有名になりました

た（図6参照）。私は、まだ、その目標達成シートを、完全に、自分のものには、していません。

しかし、中学時代から、おこなってきた潜在意識との付き合い方が、後になって、スポーツメンタルトレーニングという言葉で、理解できました。日本にルーティンワークという言葉を入力したのは、宮崎県出身、東海大学を退職した高妻容一先生です。

体のケア	サプリメントを飲む	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気は流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダのキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度	速く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

図6 大谷翔平さんの目標達成シート

いま、高妻先生は、フロリダ在住です。高妻先生が現役時代は、2月のプロ野球のキャンプ時期には、一緒に沖縄に出向き、楽しい時間を過ごしていました。

私は、中学校からバレーボール部に入り、大学時代には、男子バレーボール部の主将になっていました。中学では、沖縄県大会で優勝しました。大学では、沖縄県バレーボール協会とスクラムを組み、当時の海邦国体で、全国制覇を目指して、チームをつくりあげてきました。

結果、沖縄県、成年 9 人制男子バレーボールチームでは、全国大会優勝、連覇 13 回、という偉業をなしとげました。

私の自己肯定感は、たった、それだけの成功体験です。

いまの若者、子どもたちにも、何かしらの自己肯定感を味わってほしいと思います。

それは、難しいことではなくて、ありがとうございます、とか、おはようございますとか、簡単な挨拶にはじまると思っています。「ありがとうございます」には、「難が有る」から、有難う。「ございます」には、財が増す、ご財増す、の意味があるから、「ございます」と、学生達には、つたえています。

ですから、「あけおめ」ではなく、「あけましておめでとうございます」なのです。

「ありがとう」、ではなく、「ありがとうございます」です。「おはよう」、ではなく、

「おはようございます」です。語尾に、「ございます」をつけるだけで、家族の間でも

なごやかな雰囲気になると思います。挨拶を交わすだけで、地域の人間関係が気持ちのいいものになると思います。

たとえば、仕事が始まる際には、夜であれ、「おはようございます」の言葉が使われます。私は、学生たちに、質問します。

「おはようございます」は、「何時から『おはようございます』ですか?」と、尋ねます。ほとんどの学生達は、グーグルなどで、検索をして、そこに答えがあるかのように、ネットに依存していきます。

私の解答はこうです。朝という文字を分解すると、「十月十日（じゅうがつとおか）」、となります。「十月十日」は、「とつきとうか」、と読めます。そこから思考を展開します。「とつきとうか」は、精子が卵子と受精して命をはぐくみ、出産するまでの大切な時間と、説明します。

つまり、朝だから、「おはようございます」ではなくて、朝の仕事、仕事のスタートは一日のなかで最も大切だから、「おはようございます」の言葉を使う、と伝えます。そこで、学生の言動に変化が生じてきます。

もちろん、これには、数学のような正解はない問題です。ただ、正解はないにしても、「納得する解」はあると思います。

いま、国際紛争などの時代に、それぞれの国は、自らの正解、正義を掲げて戦っています。そうではなくて、それぞれを納得させる解をもって、紛争を抑える。

すくなくとも、世界の国々と仲良くなる、そんな教育システムがあってもいいと思っています。それが、チャイルドアンバサダー教育です。チャイルドアンバサダー教育では、英語・算数・理科・社会などの、認知能力よりも、音楽・体育・書道・図工・家庭科などの非認知能力を高めていく教育に取り組んでいきたいと思っています。

私事ですが、昨年、熊本県の楽しい仲間達が、沖縄の復帰 50 周年を記念して、沖縄まで遊びに来てくれました。YouTube でひらがなで「はいかいおじさん」と検索すれば、臨時で、組んだバンドで私が歌っています。「はいかい」というのは、深夜徘徊のはいかいです (<https://www.youtube.com/watch?v=v7w4gqdKh1c>)。このサイトは、企業さんとのまじめな会議前に、資料として言葉で伝えるとコミュニケーションが円滑にできました。そういう経緯もあります。

また、今年 2 月～3 月には、ぎまもんの絵本が出版されます。私のはじめての出版物は絵本です。これまで、多くの原稿やら論文を書いてきましたが、すべて共著です。今回の絵本だけは、単著です。未来名刺といって、「将来、絵本作家、という肩書って、かっこよくない」という発想だけで、絵本の脚本に取り掛かりました。子どもたちや保護者にわかりやすく伝えるためには、何がいいかと思案した結果、絵本の制

作となりました。

<最後に>儀間ゼミでは、ハラリ『サピエンス全史』の「認知革命」から、人間の潜在意識、顕在意識（ヒトから見られる自分）、集中した自分など、気質学との関係しを考察したいと思います。ぎまものなかには、「1. 研究者、2. 易者（医者）、3. 教育者、4. 経営者、5. 芸者」などの、キャラクターが存在します。それらをまとめて一つのキャラクターにした場合、「僧」になると思っています。

私は、キャラクターという表現を使いましたが、厳密には、それぞれのお役目での「魂」です。私は、今回の儀間ゼミの時間を通して、最低でも、「メタボ・メタ坊主」というギャグから、「メタバース」という言葉を覚えていただき、ネットとリアルでの、新しい居場所づくり、そして、その利活用によって、「大きい人間（大人達）や小さい人間（子どもたち）たち」の、「認知革命」「魂の革命」がおこればいいと思っています。

東海大学教授儀間敏彦（ぎまとしひこ）／所属 東海大学教育開発研究センター